
幼なじみ

莉緒

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

幼なじみ

【Nコード】

N5719N

【作者名】

莉緒

【あらすじ】

みんなの入試が終わり、卒業シーズンを迎える頃幼なじみが留学でアメリカ・シアトルに行くと言き、小百合がとった行動とは…?!

始めに…

〈始めに〉

はじめまして。

莉緒と申します。

小説を執筆するのは初めてで、文章力がないので分かりにくい文章になったりするかと思いますが、広い心で読んで下さると嬉しく思います。

学生なので、部活などで忙しくなかなか更新出来なかったりするけれど、なるべく早く更新出来ればいいなと思います。

それでは、どうかよろしく申し上げますm() () m
〈登場人物〉

*宮城 小百合

(みやぎ さゆり)

物語の主人公。

中学3年の受験生。

見た目も頭も普通な平凡な女子中学生。

智樹とは、家を一軒挟んで隣で昔からの仲。 *奥田 智樹

(おくだ ともき)

小百合の幼なじみで、クラスメイト。

学校一の秀才で、なかなかのイケメン。

*村上 美里

(むらかみ みさと)

小百合の親友でクラスメイト。

可愛くて、結構モテる美人さん。

*大林 拓也

(おおばやし たくや)

小百合と智樹のクラスメート。

智樹と仲が良く、智樹の相談相手。

それでは、物語をお楽しみ下さい(・o・)(ノ)

〈第1話〉

秋が深まり、紅葉の見頃を過ぎた頃のある朝。少し肌寒くなってきた。

「おはよ、智樹。あれ？寝不足？」

と1人の少女が家から出て来た少年に話し掛ける。

「あつ、小百合。おはよう。ちょっと学校の宿題と塾の宿題に、手こずっちゃって…」

と少年の方が答える。眠そうにあくびまでしている。

少女の名前は、宮城 小百合。元気の良さが取り柄の女の子。

少年の方は、奥田 智樹といって、中学校で1番の秀才である。

この2人は、家を一軒挟んで隣の幼なじみでとても仲が良い。昔から、何をするのも2人一緒であったほど仲が良いのだ。

今でも一緒に登校している。

〈第1話〉

「いいよなあー、学校一の天才くんは。あたしも、智樹くらい頭が良ければなあー」

「まあー、小百合なら少し努力すれば出来るようになるって」

「そうかなあー?」

「そうだって!少しは頑張れよっ」

そう言っつて智樹は小百合の頭をポンつと軽く叩いた。

家から学校までは、歩いて10分程なのですぐ着いてしまう。

校門の前で小百合の親友の村上 美里に会った。

「あっ!小百合、奥田くん、おはよっ!朝からラブラブしてますねえー」

と美里が茶化すと、小百合が少しほっぺを赤くさせながら、

「何言っつてんのよっ!...もう、美里ったらっ...」

と言った。

少し3人で歩いていると後ろから、智樹の友達の大林 拓也が走っつてやって来た。

「おはよう、3人共。あっ、もしかして俺、邪魔した??」

と言っつと、次は智樹が

「拓也、何言っつてんだよっ」

と小声で拓也に言った。当の拓也は意地悪そうに笑っている。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5719n/>

幼なじみ

2010年10月9日18時52分発行